

- 三角港フェリーターミナル完成へ
- 三角港あれこれ---明治の建築文化
- 県営帯山A団地設計コンペ入賞者発表速報

くまもとアートポリス・シンポジウム

1989年10月7日、熊本県立劇場演劇ホールにおいて、くまもとアートポリス・シンポジウムが開催された。テーマは「都市にデザインを、田園にアイデアを」。

第1部は「くまもとアートポリスと集合住宅」と題して、建設省住宅局から野島紀久氏、アートポリス・プロジェクトの建築家として上田憲二郎、坂本一成両氏、そして熊本県土木部住宅課から磯田桂史氏が、それぞれの立場から発言した。(コーディネーターは八東はじめ氏)

まずHOPE計画から新地団地、託麻団地にいたるまでの熊本県内の公共住宅の建設の事例を、磯田、上田、坂本氏の順で説明し、設計を通じての可能性と問題点が挙げられた。

野島氏は、建築家による様々な試みが公共住宅全体の質を上げる可能性を持つだろうという期待を語ると共に、建築家の公共住宅の設計へのより積極的な参加を求めた。

また公共集合住宅の設計料に対する見直しが必要ではないかとの提言も出され、今後も続けるべき議論のテーマとされた。

第2部は熊本県総合福祉センターの設計者であるハンス・ホライン氏による特別講演。初期の作品から最新作に至るまで、規模の大小にかかわらず、一貫して「建築は芸術である」との見解を力説し、材料や機能をもっとも効率よく配列しなくてはならないなどの点を、スライドを交えて説明した。予定時間を大幅に越える熱演であった。当日会場ロビーではくまもとアートポリスのプロジェクト展示も行なわれ、1000名を越える入場者で賑わった。

くまもとアートポリス対象プロジェクトへの参加募集

公共・民間を問わず、くまもとアートポリスへの事業参加を求めています。くまもとアートポリスコミッショナー磯崎新氏がプロジェクトにふさわしい建築家やデザイナーなどを推薦します。

くまもとアートポリスのプロジェクトを紹介 Architect's Holiday東京

新日本建築家協会の主催による東京での建築家、プロジェクト展にくまもとアートポリス・プロジェクトを紹介するコーナーがつけられます。
期間 1990年5月18日(金) - 27日(日)
会場 東京(場所は未定)
問合せ JIA03-408-7125(担当/石川)

関連出版物 ポスター・パンフレット アートポリスニュース

現在までくまもとアートポリス事務局では以下の出版物を作成しております。

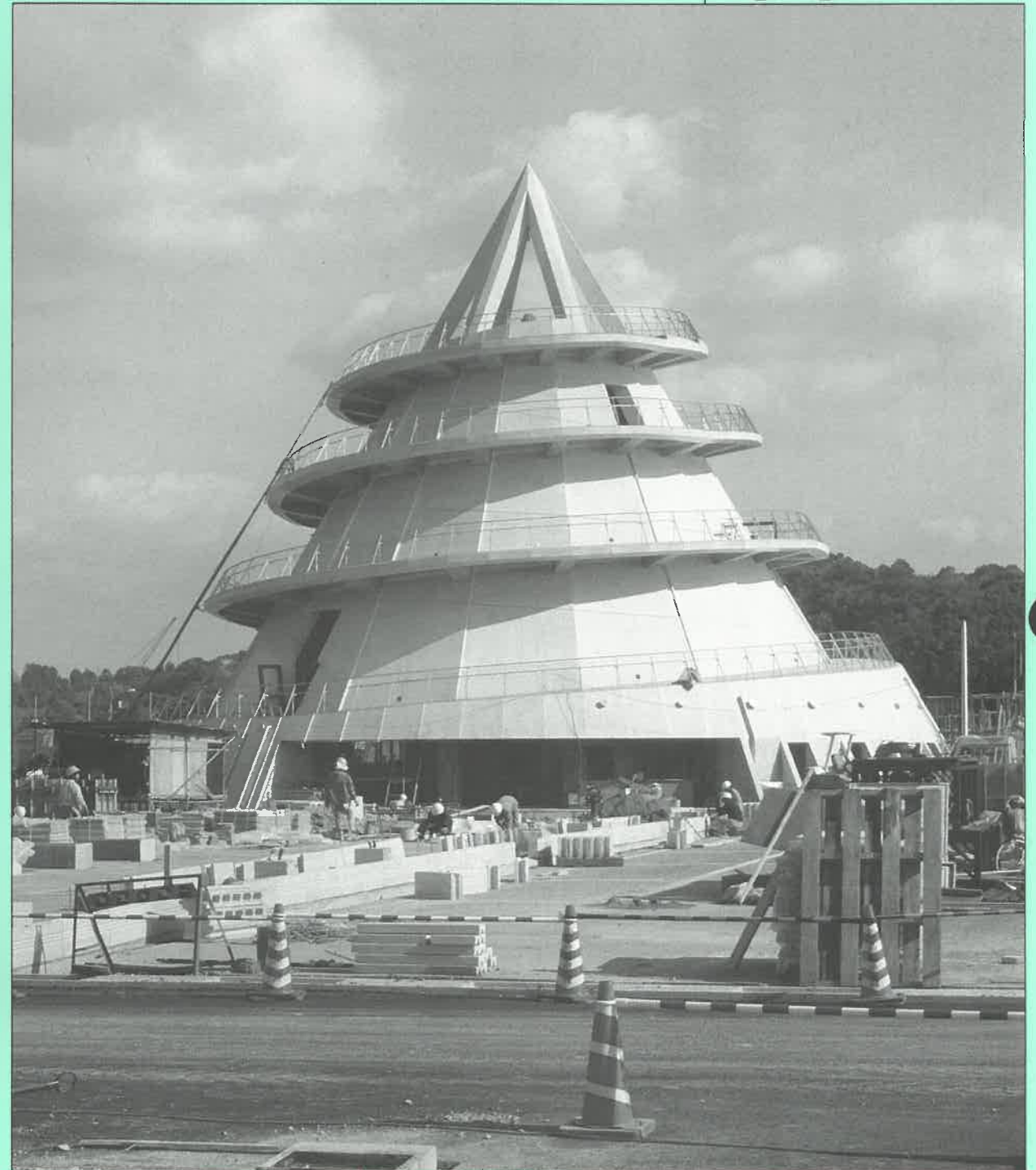
1. 『くまもとアートポリス・パンフレット』
2. 『くまもとまちづくりシンポジウム報告書1988』
3. 『アートポリス・ポスター』
4. 『くまもとアートポリス・ニュース 01、02、03』
5. 『くまもとアートポリス・シンポジウム報告書1990』

これらの出版物をご希望の方は「くまもとアートポリス事務局」熊本県建築課内 (tel 096-383-1111<内線6220/6221>)までご連絡下さい。



上/くまもとアートポリスシンポジウムで講演するハンス・ホライン氏。

●建物が続々と完成し、いよいよくまもとアートポリスの構想が具体化してきた。建設にまつわるエピソード、計画地周辺の話題などを、くまもとアートポリスニュースでは取り上げていきます。ご意見、ご感想をお寄せください。



最後の仕上げに入る三角港フェリーターミナル 設計/栗祥栄

●発行/くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課内 熊本市水前寺6-18-1
tel 096-383-1111 (内線6220 / 6221)
●編集/くまもとアートポリスコミッショナー事務局
東京都渋谷区渋谷2-5-7 本間ビル
建築・都市ワークショップ内 tel 03-407-4753

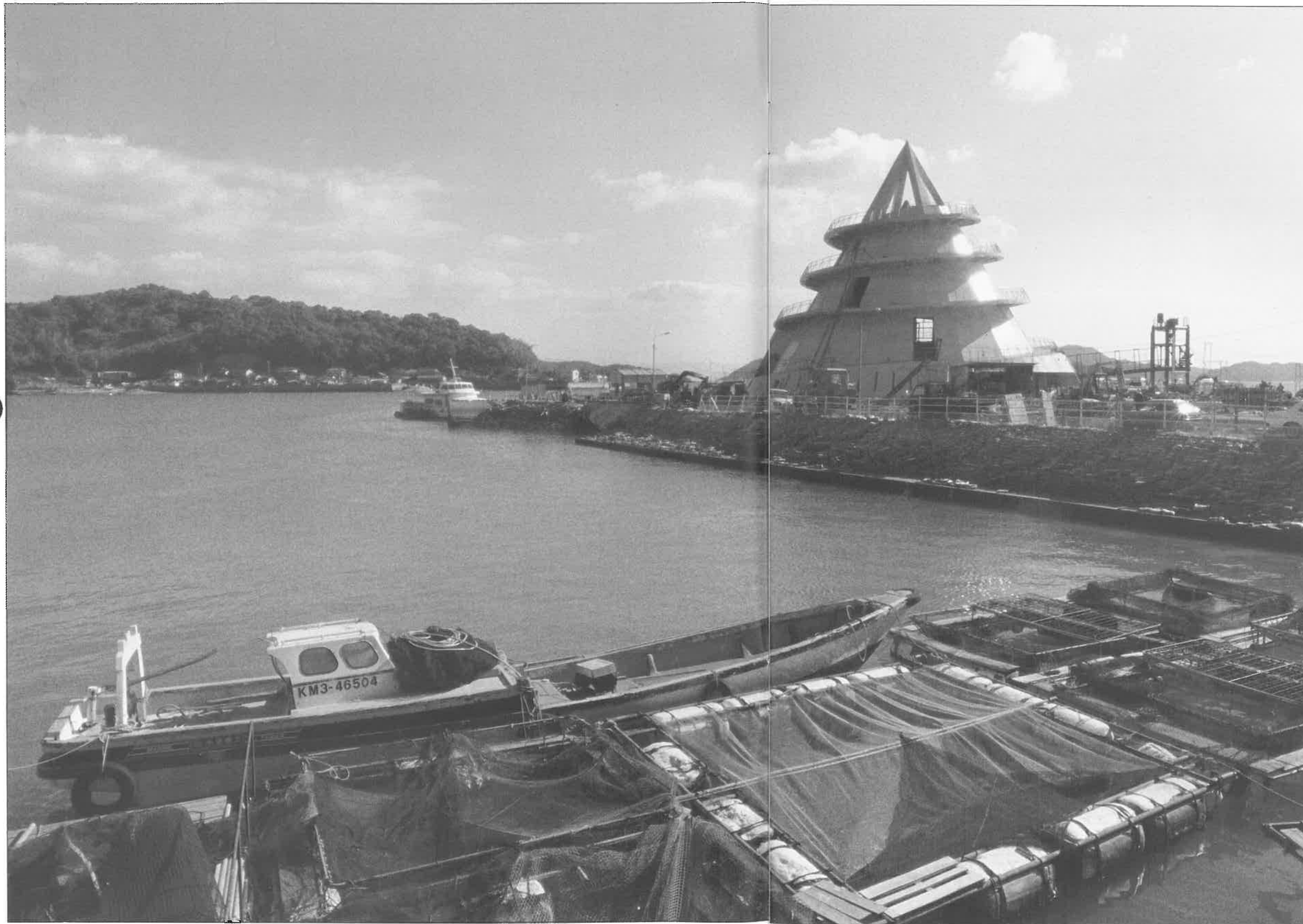
K·A·P

9003

03

葉祥栄

三角港フェリーターミナル設計者



●巻き貝が二重螺旋になって、思わずヤッター！という感じでしたね。

三角(みすみ)港は熊本県の中央部、宇土半島の先端にある。天草群島へ渡る天草五橋の入口であり、また島原、天草諸島への連絡船の基地として、文字どおり海のターミナルである。

◎
3月24日、いよいよ三角港のフェリーターミナルがオープンする。島原へ1時間ほどの航行の出発点。

この新しい建築はすでに「海のピラミッド」の愛称で呼ばれ始めている。竣工式を目前に、設計者である葉祥栄氏から、この建物のイメージや、今後の使い方に対する構想などを伺った。

葉祥栄 そもそもアートポリスの構想を伺ってから、設計を完成させるまでの時間が非常に限られていました。もともと平屋の建物が考えられていたし、床面積に対する建設のコストが学校建築と同じ程度の予算で見積られており・・・と、条件を数え上げればきりがありませんが・・・。(笑い)

今回の建築では建築材料の冒険というよりも、むしろ建築形態のおもしろさに重点が置かれていますね。

最初、竹筋コンクリート、つまり竹のチップを混ぜたコンクリートを使おうと考えたこともありました。

「小国の体育館」とか、木造技術に対するチャレンジの成果は普遍化していくものでしょう。産業化の可能性とか、いってみれば社会的なインパクトがあるんですね。

だから今回も材料の新しい可能性を探っていた時期もあったんですが、認定の問題とかで、ちょっと時間が足りなかった。

でも、そんなことをしているうちに突然、二重螺旋のアイデアが沸いたんです。思わず、ヤッター！という感じでしたね。

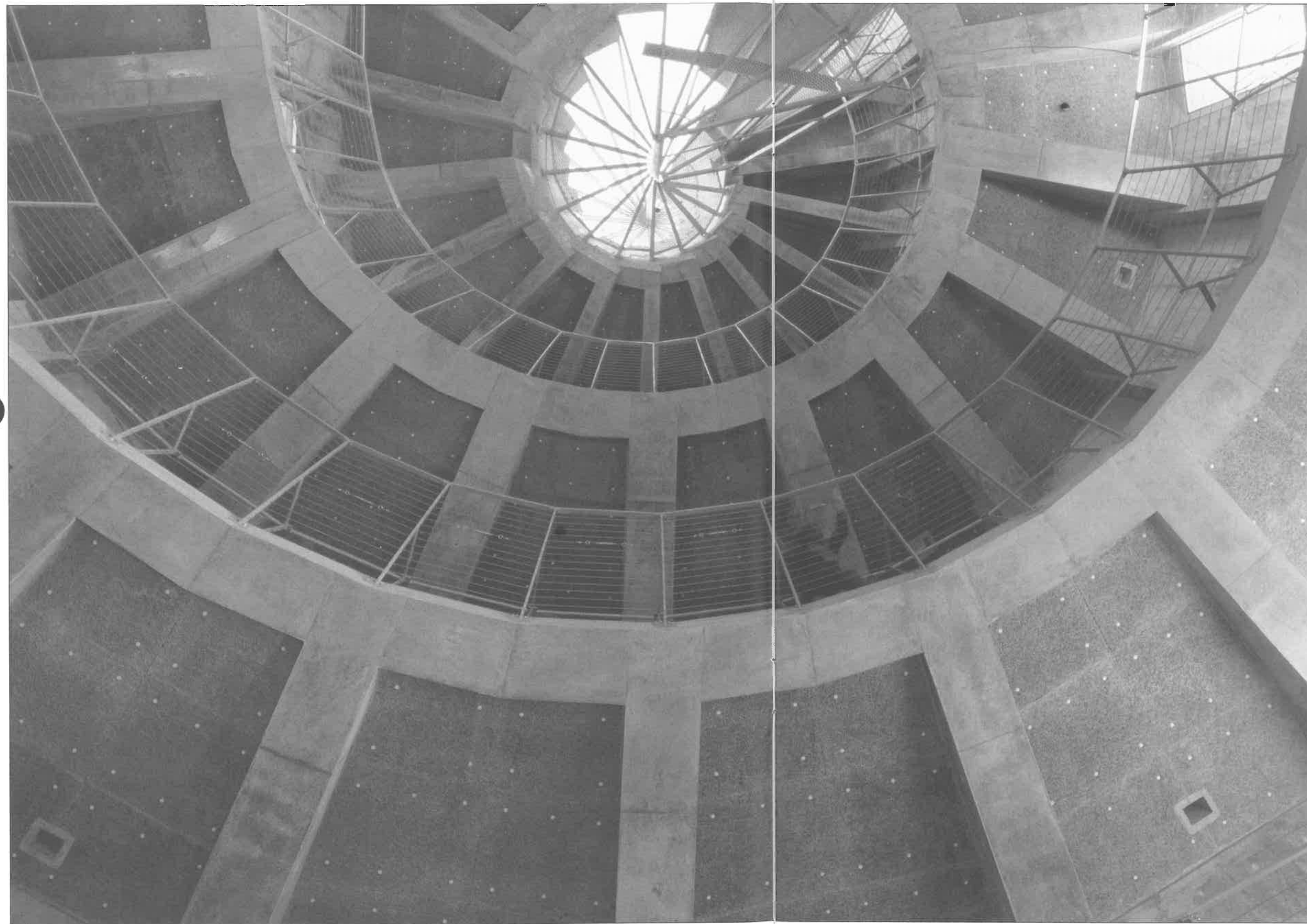
港のランドマークと、巻貝のイメージなんか重なっているんですね。

●建築データ

所在地 熊本県宇土郡三角町大字三角浦地先
主要用途 旅客待合所
構造 鉄筋コンクリート造
敷地面積 1,520m²
建築面積 865m²/延べ床面積 1,052m²
階数 1階 / 最高高 25m
構造設計 草場建築構造計画
設備設計 新日本設備計画九州事務所

施工 岩永組
設計期間 1988年8月 - 1988年12月
施工期間 1989年3月 - 1990年3月

○葉祥栄 (ようしょうえい) プロフィール
1940年熊本市に生まれる/1962年慶応義塾大学経済学部卒業後/米国ウィッテンバーグ大学工業デザイン奨学生/1964年インターナショナル・デザイン・アソシエイツ東京事務所に入社/1970年葉デザイン事務所を設立、今日に至る。日本インテリアデザイン協会賞/日本建築家協会新人賞/毎日デザイン賞などを受賞
主な作品として、インゴット、光格子の家、小国町民体育館、西部ガスミュージアムなどがある



そもそも三角でしょう。三角のイメージと、海にはとにかく塔が必要だと思ったわけ。そこに二重螺旋で昇ったり、降りたりする楽しさを盛り込んだわけですね。巻貝のメタファーも、やっていくうちに出てきたんです。

建物のプログラムを説明していただけますか。

フェリーの発着までの時間を、ここで過ごすわけですから、基本的には雨露をしのぐ待合室なんです。事務所、切符売り場といったターミナルに必要な施設ですね。そして海を見ながら軽く食事ができるレストラン。ラウンジには海産物や名産品を置く町営の売り場なども計画されています。

ところが、できるとややはり展望台というか、巨大なインスタレーションのような建築になりましたね。

アンビエント・インスタレーション(環境彫刻)とでもいったらいいんでしょうか。これは阿蘇の「アスペクタ」でも同じような考えなんですけれども、建築の使い方、アイデアがそれを使う人たちによってどんどん発展していくんです。

例えば、東京の「ラ・フォーレ」というビルの中にあるスペースに上下する床というのをつくったことがあります。ちょっと使い方が難しいかなとは思ったんですが、そのオープニングがイッセイ・ミヤケの「ボディ・ワークス」というファッションショーで、見事な演出でその空間を使ってくれた。メディアとしてこの空間を使っていたいたんですね。

すでに三角町の皆さんが、このターミナルでいろんなイベントを考えているようですね。

ええ。スロープを昇ったり降りたりの踊りの会を考えておられるみたいです。

●二重螺旋だからみんなの踊りの輪は永遠につながって・・・

下二重螺旋の頂上から三角港をのぞむ



6

この二重螺旋はエンドレスですから、永久に踊り続けることができるんです。たぶん内外合わせて200メートルくらいの螺旋のスロープですから、壮観でしょうね。まるでメビウスの輪みたいに、内側を歩いているかと思うと外側になっていたり、自分でも体験してみるのが楽しみです。

イベントスペースとして考えると、まだまだいろんな発見がありそうですね。

コンサートのことも考えたんですよ。音響実験をしてみたら、コンクリートの内部が響き過ぎたんで、スロープの下側には吸音材を張ったりしました。ところで、この建物のでっぺんで演奏すると、下では物凄く大きな音になって聞こえると思いませんか。ちょうど法螺貝の笛の原理でね。港にできた様々な使い方が開発できる巨大なオブジェというところでしょうか。実際に建物が使われるようになって、また新しい発見があるというのは、楽しいことですね。(談)

7

●三角港フェリーターミナル見学案内

熊本市内より国道57号線を車で60分。JR三角線三角駅前。島原へのフェリーは約1時間おきに出発。旅客運賃は830円。レストラン、売店などがあり、休憩ができる。



03

明治の建築文化・三角西港訪問

熊本市方向から三角港フェリーターミナルに向かって57号線を行くと、天草五橋の手前右側に小さな集落がある。

ここに明治の三大築港といわれた三角港がある。石積みの港が現在もそっくり残っているのが嬉しい。

明治20年完成のこの港は、当時、熊本唯一の貿易港であり、最盛期には外国船の見えない日はなかったという。お雇い外国人技師、ムルドルは現在もびくともしない石積みによる港の設計はもちろんのこと、水路によって背後に迫る山並からきっぱりと区切った居住地区をつくるなど、近代的な都市計画をこの三角港に導入した。

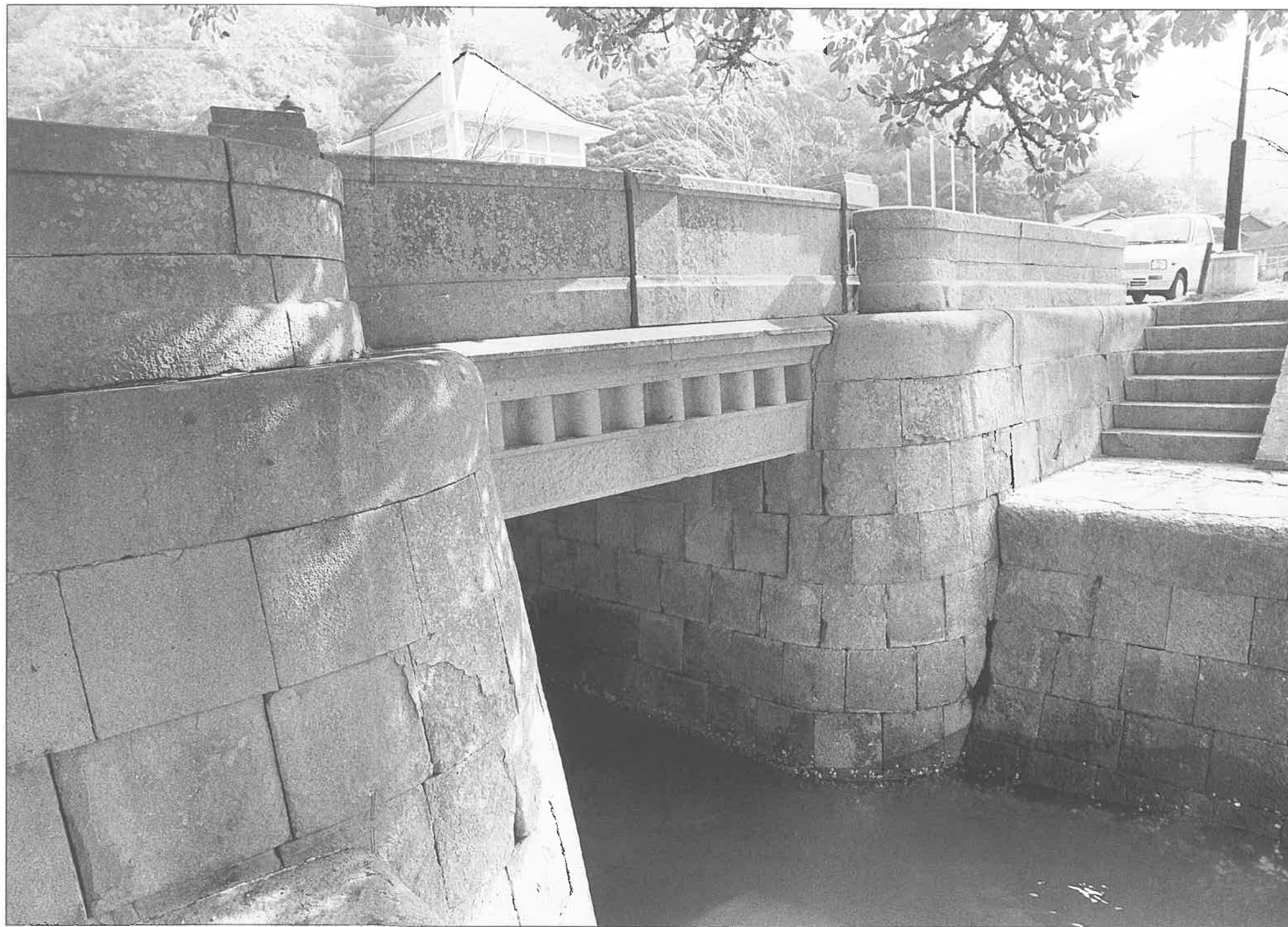
ここには今も外国文化との直接の交流があった当時の三角を思わせる洋館、宇土郡役所、龍驤館が保存され、明治三角の博物館といえるほど。

全長730メートルにおよぶ埠頭は、囚人の労役によって築かれたものの。今も少しの狂いもなく、海に向かって勇姿を誇っている。

8 そばに建つ白いしっくい塗りの倉は当時の荷役倉庫(現三角港築港記念館)。港にまつわる道具、機械、写真などを展示している。かつてのマドロスさんになりかわって、港を見ながらコーヒーを飲むのも一興。

現在は西港と呼ばれるかつての外国港は、地形の制約により鉄道を敷設することができず、現在の東港に、港としての機能を譲り渡すことになった。しかし、だからこそ、この明治の輝くばかりの遺構を現在に受け継ぐことができたのである。

天草五橋を挟み、対をなす東港と西港。100年という歳月を越えた建築文化のつながりを、ぜひ味わっていただきたい。



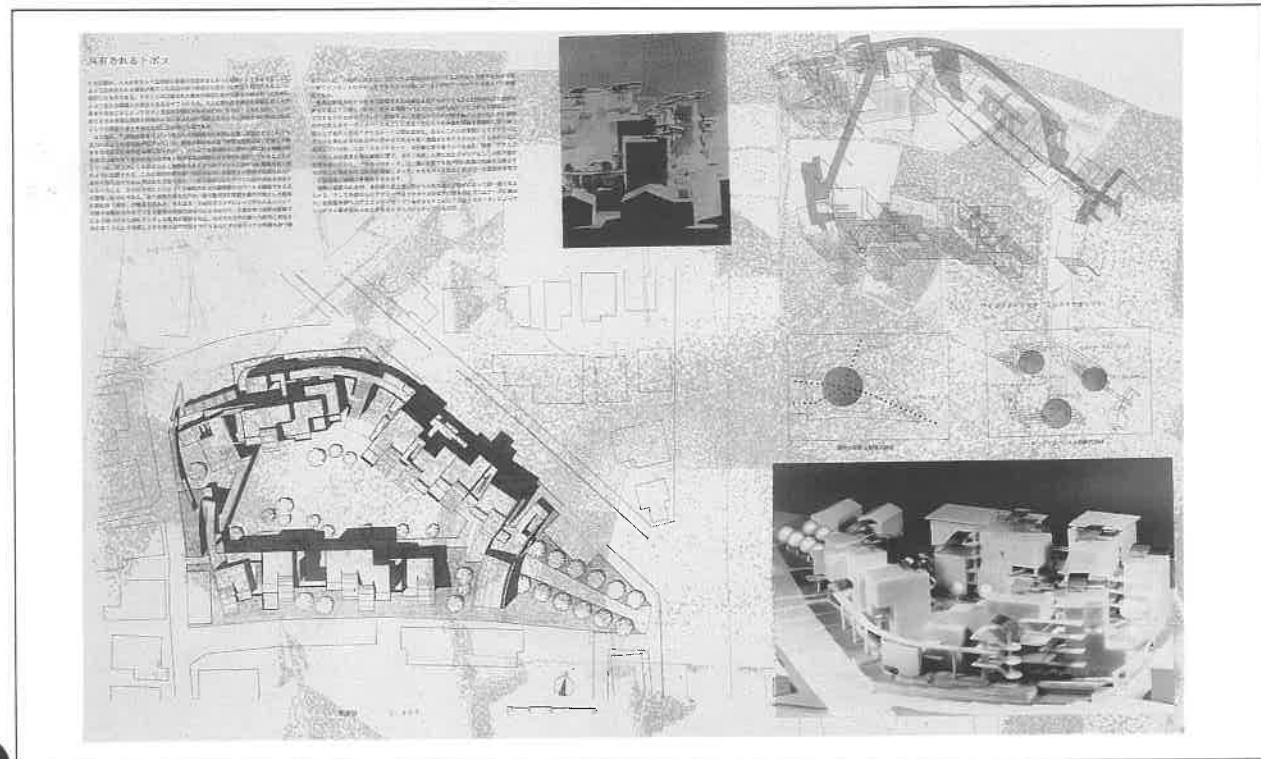
上/町中につくられた堀はや橋はすべて石積み
下左、右/埠頭脇の旧荷役倉庫は記念館に。
コーヒーのサービスや三角港の絵葉書などの資料を販売している。
右頁/龍驤館



なお、三角西港については「熊本町並ゼミナール」等のグループによる再生計画、熊本大学堀内清治教授による論稿(SPACE MODULATOR63)があります。本記事作成にあたって、参考とさせていただきます。

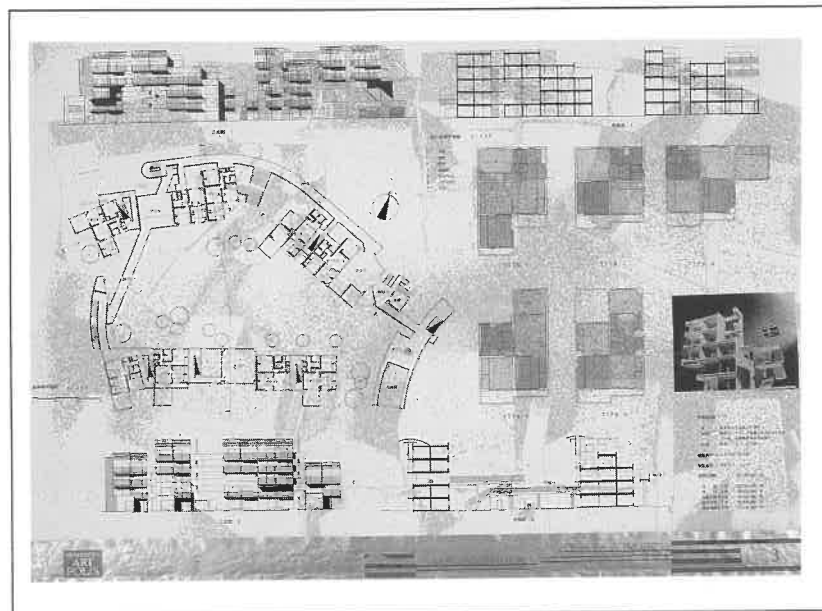
公開設計競技入選発表 速報！

熊本県営住宅帯山A団地



●最優秀賞

登録名 (有)新納設計事務所
 参加メンバー
 新納至門(新納設計事務所)
 梅田英親(新納設計事務所)
 石本和広(新納設計事務所)



磯崎新(くまもとアートポリスコミッショナー)



最終審査で応募案をチェックする
 磯崎新氏

まず予想以上の応募がありました、かなり力作ぞろいでしたね。もちろん公共住宅の枠内ですが、熊本の気候、周辺環境条件、文化などを踏まえうえて、新しい集合住宅のタイプができれば、という視点から審査にあたりました。今回のコンペの特徴は、敷地の隣にくまもとアートポリス・プロジェクトの山本理顕さんが設計した保田窪第一団地の工事が進行中だということです。この計画が公営住宅としてはかなり画期的な新しいタイプを打ちだそうとしている。それは半戸外の空間を生活空間として再編成しようという意図です。この意図を今回のコンペで受け継ぐかどうか、これが応募者に突き付けられたテーマだと思いました。そんな観点から応募案に臨んだわけです。

●優秀賞(2点)

○西岡弘建築工房
 参加メンバー 西岡弘、増山幸雄、伊藤宗明、掛江一也、林洋子、緒方聡、船越香世子、上野雅之
 ○塚本政利+設計機構ワークス
 参加メンバー 塚本政利、坂口佳明、酒見宏祐、福田昭人、城戸智子

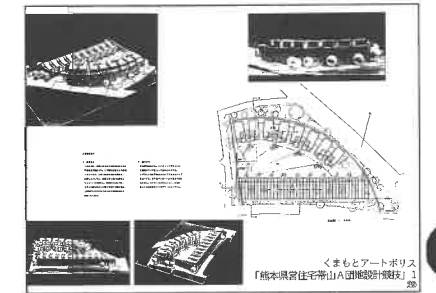
●佳作(3点)

○一級建築士事務所 IMAIアソシエイツ
 参加メンバー 井本重美
 ○太祥設計コンサルタント
 参加メンバー 安田勝義、三木茂治、今村弘伸、渡辺勝巳(以上太祥設計コンサルタント)、高松伸、鳥居正純、平島孝、星子郁子
 ○川津浩幸

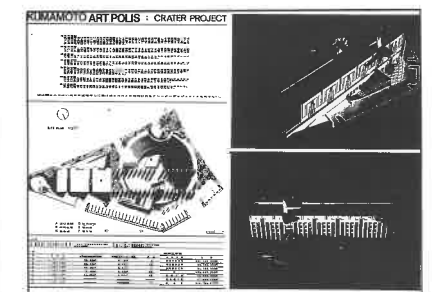
つまり、隣の団地のコンセプトと対立した新しいコンセプトがでてくるか、あるいは連続させて、より洗練していくかというふたつの方向があるということです。これは参加者にとっても考え方の分かれ目だったとおもいますね。最終的に最優秀賞として選んだ6案は必ずしも全部の応募案の傾向を代表しているとはいえないかも知れませんが、群を抜いている良さをもっているものです。さて、1等案ですが、隣の団地からの連続性を積極的に捉えたものの典型的な案だったと思います。この案の特徴は住戸を単に並べるのではなく、様々に組み合わせることによって、中間的なスペースをつくりだした。そしてこのスペースを特徴付けているのが「ひさし」です。これは隣の団地からの連続性をもつもので、伝

統的な手法で言えば「ぬすみ」の手法によっています。町屋の「連子格子」や「うだつ」がそれです。またこの案ではスカイウォークという空中の廊下が、各戸への立体的なアプローチを確保しています。ばらばらなユニット全体を連結するよい手掛かりかと思えます。部分的にユニットが隣と近すぎるようなものもありますが、実施設計の段階で十分に変更できるものかと思えます。(談)

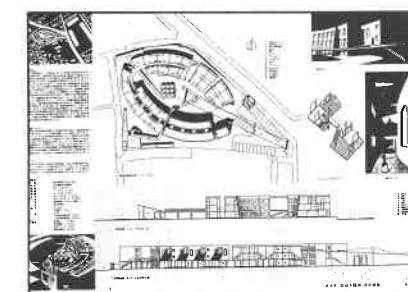
*優秀賞以下の講評は設計競技作品集に収録されます



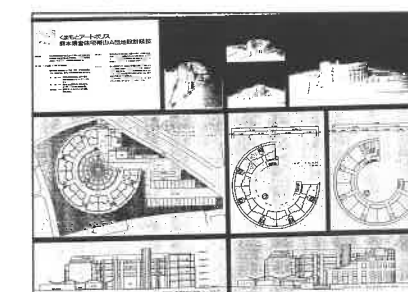
佳作 IMAIアソシエイツ案



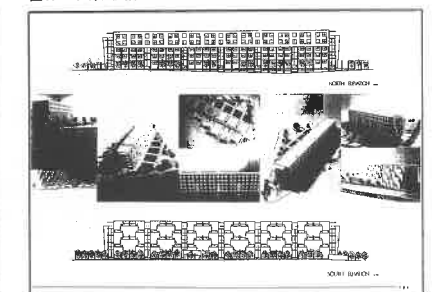
佳作 太祥設計コンサルタント



優秀賞 西岡弘



優秀賞 塚本政利+ワークス



佳作 川津浩幸

●竣工プロジェクト紹介
熊本市公衆便所(花畑公園)

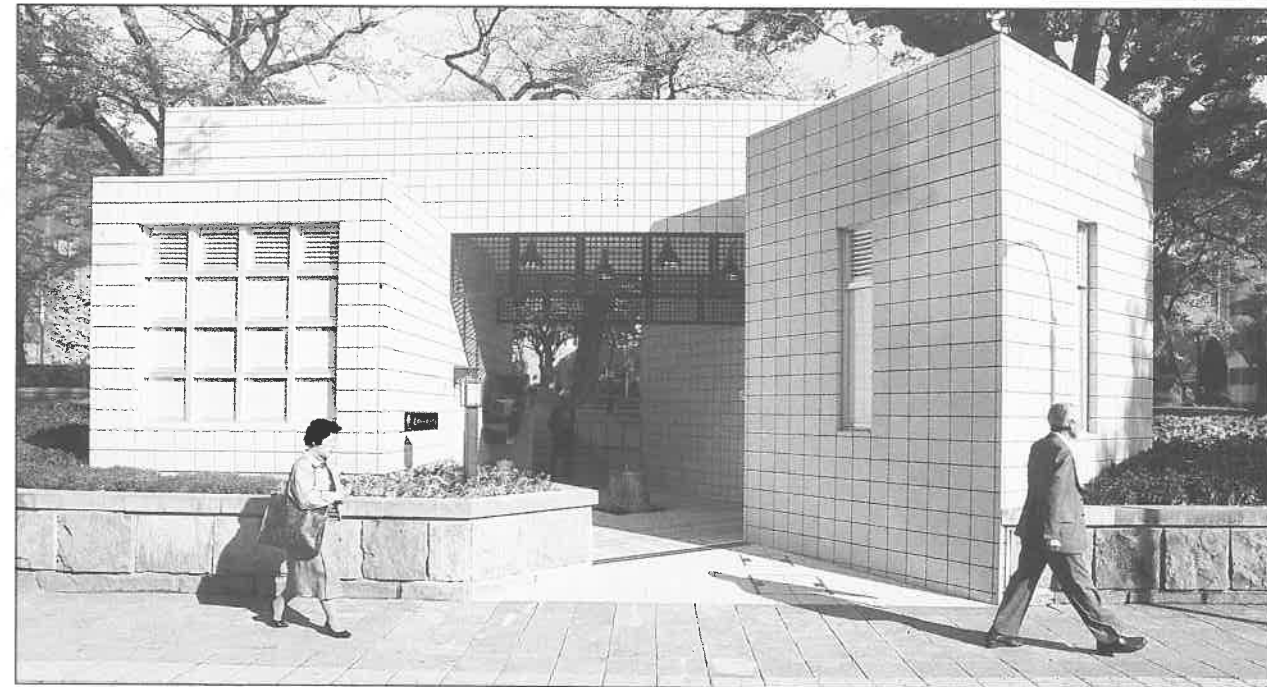
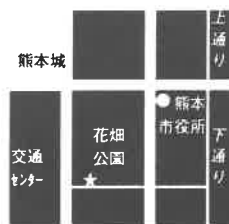
----花畑パークトイレ----

設計 大塚豊一

所在地 熊本市花畑町

熊本城に程近い楠の大木が生い茂る由緒ある花畑公園。朝夕の通勤・通学のコースにあるこのトイレの使用頻度は高い。公園側、道路側の両方のアプローチがあり、中央には中庭が設けられている。ブース内の機器の収まりにも細かい配慮がなされ、快いBGMが流れている。

●見学案内
熊本市中心部、交通センター前、花畑公園内。
見学時にはぜひ、この建物を使用して雰囲気味わってください。公衆電話も設置。



12 加久藤トンネル換気所

設計 小山明

+ パシフィックコンサルタンツ

所在地 人吉市大畑町、
宮崎県えびの市

トンネル内の強制換気用ポンプ施設。空気を取り入れる外壁のエキスパンドメタルと、道路標識を思わせる大胆なカラーリングが、近代建築のひとつのタイプ、工業的建築を思わせる。機能的な施設も環境や建築文化向上の要素とするアートボリスの理念に基づいたプロジェクト。

●見学案内
熊本県からはループ橋を登りきってすぐトンネルの入口と共に換気所が見えてくる。トンネルを抜けてもうひとつ。駐車場の余地がないので他の交通にご注意!



●進行報告

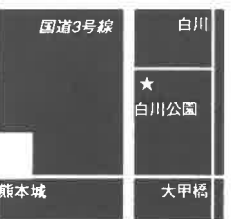
建物の全容を現わす

熊本北警察署

設計 篠原一男+大宏設計

3月現在、建物の全容がようやく見えてきた。外壁にはシルバーのアルミパネルが張られ、北道路側の上方には、設備機器を納めた黒い円筒が吊られているのがわかる。西側、逆に張り出した大きなガラス面のファサードの出現は、旧庁舎がとり除かれる今秋まで待つことになる。

●見学案内
熊本市内、白川公園の隣。現在の北警察署の白川寄り建設中。南北両エレベーションのみ、道路、公園から見ることが出来る。工事の邪魔をしないように!



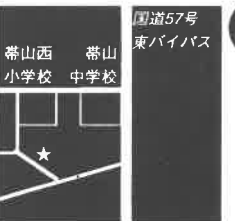
3月末に第1期が完成

熊本県営保田窪第一団地

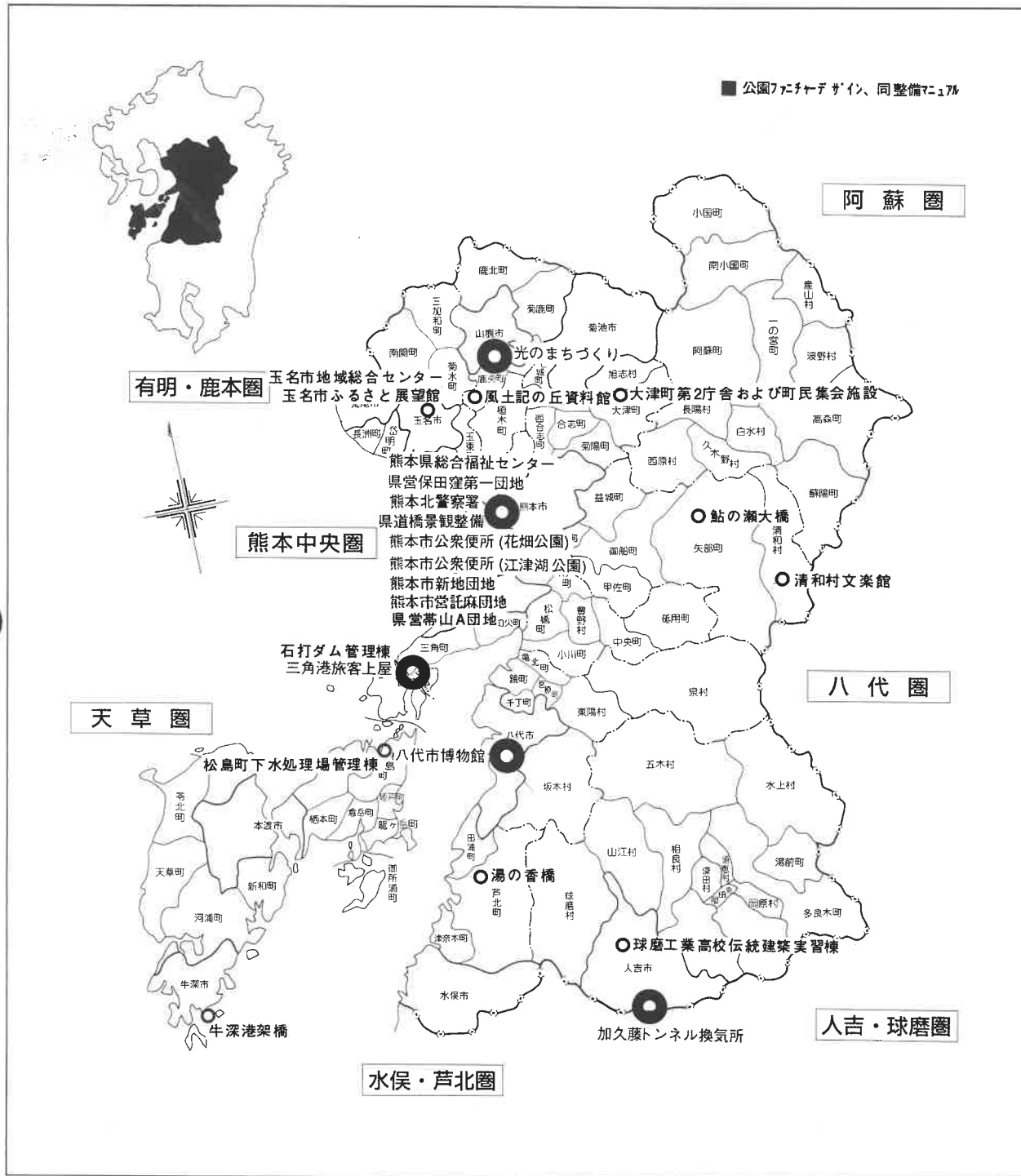
設計 山本理顕

くまもとアートボリス集合住宅の完成第一号。第1期の完成にともなって、一般の入居が始まる。開放的なテラスや、中庭の使い方は、もちろん住む人々の創意工夫に任せられる。設計者も考えなかったほどすばらしい住み方が期待される。

●見学案内
熊本市内、国道57号東バイパス帯山中学校脇。道路側から各戸に通じる階段、小さな屋根の連続が見える。見学は居住者に迷惑をかけぬように!



参加プロジェクト建設予定地



プロジェクト名	設計者名	●参加プロジェクトリスト	
		作業過程	完成予定
熊本北警察署	篠原一男+大宏設計事務所	建設中	'90.11
県営保田窪第一団地	山本理顕	1期完了	-
加久藤トンネル換気所	小山明+バシフィックコンサルタンツ	竣工	-
三角港旅客上屋	葉祥栄	竣工	-
八代市博物館	伊東豊雄	建設中	'91.03
熊本市公衆便所(花畑公園)	大塚豊一	竣工	-
熊本市公衆便所(江津湖公園)	日田兆	竣工	-
熊本市営新地団地A	早川邦彦	建設中	'91.03
熊本市営新地団地B	緒方理一郎	実施設計中	-
熊本市営新地団地C	富永譲	実施設計中	-
熊本市営新地団地D	西岡弘	実施設計中	-
熊本市営新地団地E	上田憲二郎	実施設計中	-
県道橋景観整備	倉俣史朗+高木富士川計画事務所	計画完了	-
熊本市営託麻団地	坂本一成+長谷川逸子+松永安光	基本設計完了	-
山鹿市光のまちづくり計画	岩崎敬+瀬口英徳	基本計画完了	-
熊本県総合福祉センター	ハンス・ホライン+安井建築設計事務所	基本設計中	-
牛深港架橋	レンゾ・ビアッピ+ター・ライス+岡部憲明+前田設計	基本計画完了	-
県営帯山A団地	公開コンペ	コンペ終了	-
玉名市地域総合センター	豊田文生(基本構想)	基本構想策定中	-
湯の香橋	岸和郎	基本設計中	-
清和村文楽館	石井和紘	基本設計中	-
風土記の丘資料館	安藤忠雄	基本設計中	-
球磨工業高校伝統建築実習棟	象設計集団	基本設計中	-
鮎の瀬大橋	大野美代子+中央設計コンサルタンツ	基本設計中	-
公園ファニチャーデザイン、同整備マニュアル	沖健次+東京ランドスケープ研究所	計画中	-
松島町下水処理場管理棟	斉藤宏	基本設計中	-
石打ダム管理棟	青木茂	基本設計中	-
玉名市ふるさと展望館	高崎正治	基本設計中	-
大津町第2庁舎および町民集会施設	鈴木了二	基本設計中	-